

2025年産麦の生育状況

はだか麦、小麦ともに2月中旬の草丈は平年より低く、
茎数は平年より多かった。幼穂長は、平年より短かった。

※愛媛県農林水産研究所における麦の生育観測結果です。

2025年産麦の作況試験生育調査結果（2月13日現在）

耕種概要

播種：11月21日、播種量8kg/10a
 施肥量：基肥 窒素7kg/10a、中間追肥 窒素2kg/10a、穂肥 窒素3kg/10a

表1 麦類作況データ

調査日	項目	はだか麦		小麦	
		ハルヒメボシ		チクゴイズミ	
		2025年産	平年値	2025年産	平年値
12月 (12/10)	苗立数(本/m ²)	193	155	122	147
1月中旬 (1/16)	草丈 (cm)	15	15	16	18
	茎数(本/m ²)	555	535	514	518
2月中旬 (2/13)	草丈 (cm)	20	23	20	31
	茎数(本/m ²)	968	655	768	585
	幼穂長(mm)	2.4	4.4	2.9	5.5
	葉色(SPAD)	43	43	39	37
3月上旬	草丈 (cm)		46		53
	茎数(本/m ²)		476		471
	幼穂長(mm)		35.9		34.1
	葉色(SPAD)		45		39
3月中旬	草丈 (cm)		69		71
	茎数(本/m ²)		392		451
	幼穂長(mm)		63.4		75.5
4月上旬	茎数(本/m ²)		369		441
	出穂期		3/30		3/15
	成熟期		5/8		5/15
	稈長(cm)		87		89
	穂長(cm)		6.5		8.1
	穂数(本/m ²)		350		387
	倒伏程度		0.7		0.6
	子実重(kg/a)		41.0		51.9
	屑麦率(%)		21		1
	容積重(g/l)		820		814
	千粒重(g)		33.6		42.3
	原麦白度		14.5		13.2
	精麦白度		48.0		-
	硝子率(%)		55		-
	等級		1.1		1.0

注) 平年値は2020～2024年の平均。- は調査を行っていない。子実重は2.2mm篩上（2021年まではハルヒメボシ2.1mm、チクゴイズミ2.2mm篩上）。

倒伏程度は、ム(0)、ビ(1)、少(2)、中(3)、多(4)、甚(5)の6段階。

容積重はアラエル穀粒計、白度はカット白度計C-300、硝子率はカット硝子率判定器RN840で判定。

精麦はサカケストル、1040回転/分、砥石40番を使用。検査等級は日本穀物検定協会による(数値は反復の平均)。